

若手研究者コラムリレー

滝沢 洋平 (たきざわ ようへい)



プロフィール

大阪体育大学 体育学部スポーツ教育学科 講師
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域: 体育科教育

神奈川県相模原市出身

2008年 松蔭高等学校卒業

2012年 日本体育大学体育学部社会体育学科卒業 学士(体育学)

2014年 日本体育大学大学院博士前期課程体育科学研究科 修士(体育科学)

2017年 日本体育大学大学院教育学研究科 助教

2020年 日本体育大学大学院博士後期課程体育科学研究科 博士(体育科学)

現在に至る

E-mail: y-takizawa@ouhs.ac.jp



上:ゼミ1・2期生
中:ゼミ3・4期生
下:我が家の怪獣2人

わたしの研究

子どもに「ベースボール型(野球)は面白い!!」と感じてほしい!

子どもたちに好きなスポーツを聞くと「野球」と回答されることは少なくなってきました。これは、体育の授業づくりにも影響があり、先生方も野球やソフトボール、ティーボールが含まれる【ベースボール型】の授業をどのようにすれば良いか悩んでいる声があります。ここで私の研究を紹介させていただきます。

私は、これまで小学校・中学校において、子どもたちに「ベースボール型は面白い!」と感じてもらえるように、体育科教育学の先生方の知見を活かし、以下の研究を実施してきました。

- 学年段階に適した学習課題を組み込んだ面白いメインゲーム教材の開発
- 投げる・打つ等の技能を身につけやすくなるドリルゲーム教材や教具の開発
- 技能やゲームパフォーマンスが身についたかどうかを判断する指標(基準)づくり

これまで行ってきた実践研究から、メインゲーム教材を面白いと感じてもらうことで、子どもたちはそれぞれのチームで役に立ちたいと考え、攻撃面や守備面で必要な技能の習得・向上のためにドリルゲーム教材の実施やチーム内での学び合いを実施します。この結果、授業単元を通して技能やゲームパフォーマンスが高まることが明らかになっています。

WBCCIにおいて日本代表が優勝し、多くの子どもたちが野球をみたタイミングを逃さず、体育授業でもベースボール型を実施し、多くの子どもたちに「ベースボール型は面白い!」と感じてもらえるように、研究を進めていきたいです。

わたしの渾身の論文・書籍・記事

- ◆ 滝沢洋平, 近藤智晴. 投動作の観察的評価基準に関する研究: 小学校全学年児童の動作を対象として. 体育科教育学研究 33(2).1-17, 2017.
- ◆ 滝沢洋平ほか, 小学校3年生のベースボール型ゲーム授業における投能力及び打能力に関する研究. スポーツ教育学研究 38(1)53-70, 2018.

(なんでも帳)

皆さんは、何歳の時に、どのような指導法・手順を受け「補助輪なしのペダルをこぐ自転車(以下、自転車)」に乗れるようになりましたか?

「楽しく、新しい技能を身につけるために・・・」

私には、現在5歳と4歳の息子がいます。大変活発的でなんでも挑戦してくれる怪獣です。2人とも2歳になる前から、足で地面をけて進む某社のランニングバイクに乗っていました。その姿を見てみると、いつかは「自転車に乗りたい」と言われる日が来ると心配な日々でした。

先程の問いですが、私は補助輪付き自転車から、自転車に乗る際、熱血な父から指導を受け、自転車なんか乗りたくない気持ちと大量の涙のおかげで反骨心とド根性&自転車に乗る技能を得ました。

そのため、自分の息子にも同じ指導に愛を加えて行なう手立てを熟考していました。そして、長男が3歳9か月の時、「自転車に乗りたい」と言われました。自転車を購入し、公園に行き、、、これから指導をするのかと悩んでいたその時、息子は、ランニングバイクに乗る要領で地面をけり、ペダルの上に足を置き、次の瞬間にはほごちないながらもペダルをこぎながら、前に進みました。私は「えっ!?!」と同時に「すごい!!」と、か・な・り・大きな声を出したと記憶しています。なぜなら次の瞬間、妻に「声が大きすぎてうるさい!」と叱られたからです。

3歳の子どもに、私の指導法を見つめ直す機会をいただき、教育者や研究者として常に成長する必要があることを感じました。

日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました! → メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com

